

株式会社亀山亭ホテル	業種	宿泊・飲食サービス業
	事業所所在地	大分県日田市

被承継者		承継者			
	株式会社 亀山亭 代表取締役 諫山 高之		株式会社 亀山亭ホテル 代表取締役 諫山 知代美		
	事業承継時年齢		66歳	事業承継時年齢	64歳
	業種		宿泊・飲食サービス業	業種	宿泊・飲食サービス業
	事業所所在地		大分県日田市	事業所所在地	大分県日田市
	資本金		12,000千円	資本金	3,000千円
従業員数	0名	従業員数	49名		

事業承継前の主たる事業内容	事業承継前の主たる事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 当社は亀山亭ホテルの運営を行っており、部屋数は46室です。 また、「屋形船」8隻を保有しており、当地区において最大の保有数です。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年に当ホテルを引受するため会社を設立しました。 同年7月に吸収分割にて当ホテルの全ての施設を取得しています。
被承継者と承継者の関係	配偶者

事業承継の経緯

事業承継の検討を開始した時期：2015年 6月

被承継者	承継者
国内旅行客の減少に伴い、売上高は減少し収益性が低下しました。その結果、財務内容が悪化し老朽化した設備への投資が行えない状況でした。	特になし
事業継続のためスポンサー再生やM&Aなどの方法を検討しました。財務内容の抜本的改善と格式ある老舗ホテルの歴史を残すため、第二会社方式による事業承継を選択しました。	①他に検討した手法は？ ②なぜ事業承継を選択したか？
大分県再生支援協議会様の主導のもと抜本再生に着手した際に、官民ファンドの支援により新会社の設立及び会社分割を行いました。	相手先との交渉開始のきっかけ
財務面において大きな債務超過であり金融機関からの借入金も大きい状況にありました。そのため、取引金融機関様の協力を得て、新会社に優良な資産と適正な負債を移行させました。	課題と克服 ①財務
特になし	課題と克服 ②取引先との調整
特になし	課題と克服 ③社内調整
特になし	課題と克服 ④諸手続き

事業承継を行った時期：2016年7月

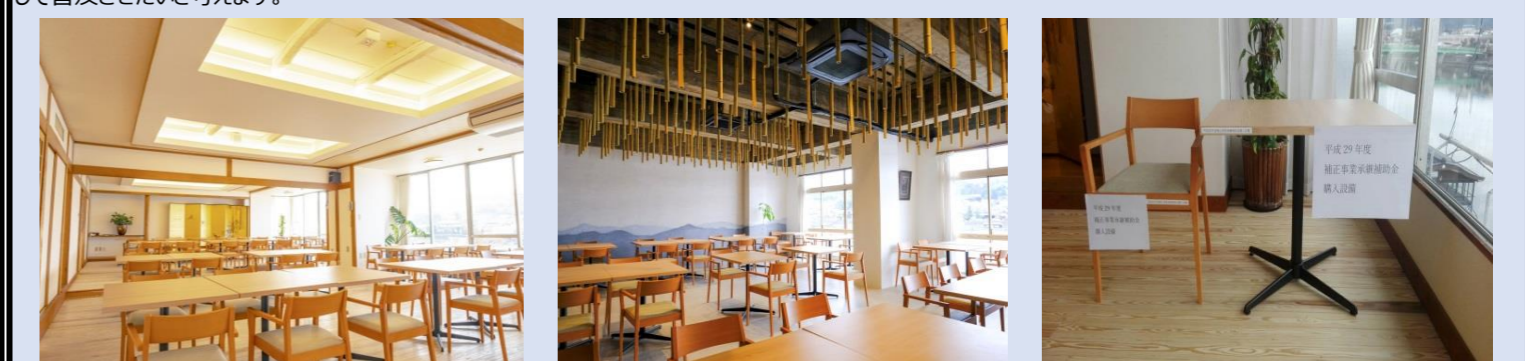
事業承継の形態	事業承継 成立の決め手になったのは？	
	被承継者	承継者
■ 吸収分割	取引金融機関様のご支援とご協力を頂いたことで事業承継を行うことが出来ました。	官民ファンドの経営および財務面のご支援を頂いたことで事業継続が可能となりました。

新たな取組の標題

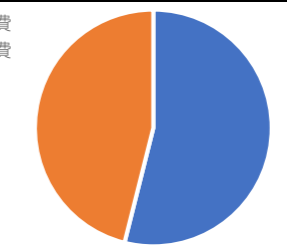
「体験型宿泊施設」として差別化したインバウンド取込み施策の展開

新たな取組の内容	役務の新たな提供の方式の導入
----------	----------------

- 当地区は全国的に珍しい「屋形船」を有した旅館地区で、毎年多くのお客様に「屋形船」を利用頂いています。この全国的に珍しい「屋形船」を活かし、インバウンドの集客を図っていきたく考えます。ただ、インバウンドの単価は1万円程度であり、「屋形船」で食事提供をすると採算がとれません。
- そこで、近年のインバウンドが求めている「コト（体験）＝屋形船体験」を訴求することで集客につなげ、食事はホテルの中で提供するという方法をとりたく考えています。
- しかし、当社では永らく「全室部屋出し」のスタイルをとっており、昨年食事処を改装して一部のお客様を食事処での食事提供に変更していますが、現状の食事処では新たな団体客対応が出来ません。そのため、食事処を拡張し、新たに取り込むインバウンドの団体客へ対応できる食事処を作りたいと考えました。
- 「屋形船の体験」と「食事処の提供」によって、多くのインバウンド団体客を集客させることが出来るとともに、屋形船での食事提供を行わないことによる効率化を実現することで、コスト面の削減も実現することができます。このスタイル（ビジネスモデル）は周辺旅館でも行っていないものであり、「屋形船」の新しい活用方法として普及させたいと考えます。



地域経済やバリューチェーンへの貢献

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
<ul style="list-style-type: none"> ①当社は従業員を約50名雇用しており地元の雇用確保の一翼を担っています。 ②仕入先の大半は地元の業者を利用しています。特に酒類は地元の酒造会社の商品を積極的に販売するなど、地元貢献を心掛けています。 ③今回の新規事業は屋形船を同地区で最も保有している当社が率先して行うことで、地元の旗振り役として取り組んおり、地域活性化に繋がると考えています。 ④当社が成長することで、地元の取引先との取引量の拡大が図られ、また、インバウンド旅行者の受入れによって地域への波及効果が得られると考えています。 	<p>■ 設備費 ■ 廃業費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費（2階改装工事費） 廃業費（解体工事処分費）</p>

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
---------------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------------------	----------------------------------

本件の補助事業を行う上で、取引金融機関からの助言をいただき内容を精査しながら取り組みを実施しました。本件補助事業の制度について説明を受けるとともに、事業計画への助言をいただき、より良い内容へブラッシュアップしてまいりました。また、当地区の旅行客数の推移やインバウンド対策などのサポートをしていただきました。

今後に向けて～次の目標

2018年から2021年に向けて	目標
営業利益	102 %UP

・これまで日本人観光客へのおもてなしを信条とした経営を進めてまいりましたが、ビジネスモデルの変更が事業の維持・発展には必要不可欠であると考え、本件の取組に至りました。
・本補助事業によって、団体客の受入れが可能な体制が整いました。今後は「おもてなし」の向上を図るとともに、当社が有する「屋形船」を活用することで更なる付加価値を提供し頑張っております。

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
当ホテルは地域に長年根差した老舗ホテルです。しかし、近年の激しい外部環境変化に追いつかず、単なる後継者への事業承継では会社の発展は難しい状況にありました。そのような中、官民ファンド様からの支援を受けることで、当社の老舗ホテルとしての格式を保ちつつも、設備投資や社内の改善を図り、会社の成長を進めることが出来ています。また、本補助金を活用することで目指す姿に向けた取り組みが進んでいます。	事業承継は非常に難しい問題ですが、避けては通れない道だと思います。また、事業承継には多くの課題があるため、支援者の協力が重要と考えます。当社も金融機関様及び官民ファンド様、そして本補助事業といった多くのお力をお借りし、円滑で将来性のある事業承継が図られています。今後事業承継に取り組まれる皆様にも、支援者の方々と協力した事業承継をお勧めします。